

公表日 令和7年 12月 23 日

事業所名 こばんはうすさくら 若松花野路教室

保護者等数(児童数) 23名 回収数 件(割合92.6%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1		1	玄関、教室、学習室を含め、全てのスペースが十分な広さだと感じます。	教室内には最低限の物しか置かないようにしています。また教室内に大きな窓もあり解放感もあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1				主に保育士、児童指導員、専門職の職員が支援を行っています。配置基準よりも多くの職員を配置できるよう心掛けています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	19	1	1	2		建物の構造上の問題もありますが、可能な限り児童の怪我や事故防止に配慮した環境作りを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		1		毎日の掃除を含め、季節の変わり目にはエアコンの掃除などの大掃除を行っています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			2	専門性はどちらとも言えません。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		放課後などの短い時間でも来所した全ての児童が集団プログラムに参加できるようプログラム内容を工夫しています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22			1	アセスメントから前回の個別支援計画の振り返りなどとても丁寧に聞き取りを行い、作成してくれます。	個別支援計画更新時に、必ず保護者様と面談を行って作成するようになっています。また他利用施設や学校、保育園などとも連携を行い、個別の課題を考えています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1		3		他施設、ご家庭と連携を行い、統一した支援が行えるように取り組んでいます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2		4	毎月「お楽しみ」のプログラムがあり、毎回どんな活動があるのか楽しみにしています。	支援にあたる全職員に個別支援計画を共有し、統一した支援が行えるよう取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		1		季節のイベントや、課外活動など子どもたちが楽しめるような活動内容も積極的に取り入れています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	6	1	6		コロナウイルスの流行を理由に実施できていませんでしたが、少しづつ交流を増やしていくこうと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					契約時に必ず説明を行うようにしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			2		個別新計画完成時には、必ず対面で説明を行い、保護者様に同意を頂いています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	1	8		コロナウイルスの流行を理由に実施できていませんでしたが、近々実施を検討しています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22			1	送迎時にその日の様子を細かく話してくれます。	送迎時に日々の様子を伝えあうようにしていますが、必要に応じて電話対応や面談を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	1		定期的に面談や助言などがあればいいなと思います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	6	3	10	されていない。	コロナウイルスの流行を理由に実施できていませんでしたが、近々実施を検討しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21			2		連絡帳アプリの導入により、連絡に早く気付くことができるため迅速に対応できるよう心掛けられています。

保護者への説明等	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22			1		どのような情報も終礼時に必ず共有するようしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	1	2	以前はよくブログを更新させていたのですが最近は更新が少なく感じます。	ブログにて更新を行っていましたが、連絡帳 アプリの導入により個別で活動内容の様子の写真を送っております。ブログの更新も
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2		2		契約時に個人情報の取扱いについての説明を行っております。また、個人情報の書類に
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	4		5		訓練内容も出来る限りお伝えできるように検討してまいります。アプリでの確認も検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		2	毎月活動で避難訓練をしてくれているようです	毎月、様々な避難発生を想定し活動を通して避難訓練を行っております。またその都度振り返りを行い、様々な避難訓練を提供しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			2		契約時に説明しています。内容の変更があれば保護者の方職員に周知しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3		2		管理者を中心に、何かあった際はすぐに保護者様へ連絡できるよにしています。また、管理者が不在の際の連絡方法についても職
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23					利用者様に寄り添った支援を心掛けていま
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1				これからも利用者様に寄り添った支援ができるよう努めていきたいと思います。

公表日 令和 6年 12月 23日

事業所名

こばんはうすさくら 花野路教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	指導員の目が届く集団療育を行えるスペースがあります。また学習室等で個別にて対応をおこなっています。	
	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	児童3人に対して指導員1人以上という国の人員配置基準より増員して人員配置を常に行ってています	職員の体調不良等で人数が少ない日もある為、姉妹教室と連携して職員を配置し安全に支援を行えるようにしていきます
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	来所からの身支度は写真や絵カードを張って視覚支援をおこなっています。バリアフリーが必要なお子様はいらっしゃらないが入口の階段には職員が手をつな	教室や玄関には段差がある為転倒防止の対策をより一層高めていけたらと思います
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	毎日、清掃を行ない時間があるときには外装の草取り、おもちゃの消毒を取り組んでいます。	長期休暇などには清掃が厳しいため清掃を活動に取り入れる等し、取り組んでいきたいと思います
	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	子どもの状況に応じて、学習室にて職員とマンツーマンで対応をおこなっています。	
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	1	月に1度の会議を行なっています。職員の能力向上のために努めています。	
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	アンケートにて保護者様の意見を受け止めて参考にし、職員間でのどのような対応をしたらしいのか考えていきたいと思	職員会議の議題にも取り入れて行こうと思います
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	毎日の終業で職員の意見を求める改善につなげています。	
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3	第3者評価をおこなっていません。今後できるよう検討していきたいです。	第3者評価をおこなっていません。今後できるよう検討していきたいです。
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	本部から研修動画をいただきその動画を職員に共有しています。また、ウェブでの研修を受けることもあります。	新入社員に向けての研修をもっと強化していけるよう本部とも連携を取っていきたいです
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	毎月、20日には次回のプログラムを公表しています。	
	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	半年に1度の保護者へのアセスメントを行ない保護者のニーズとともに個別支援計画を作成しています。	
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	1	時間を通して、職員と話す場を設け、共通理解の元支援に入るようにしています。	
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	常に共有して支援をおこなっています。	
	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1		
適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	2か月先のプログラムを考えており月に1度の会議の場で職員同士で話し合いをおこなってから最終的にプログラムが決定	プログラム内容の向上ができるよう姉妹教室ともプログラム内容を共有していきたいです
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	子どもたちが同じプログラムをしないように職員同士で話し合いをおこなっています。そのことにより様々な活動を子供	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	児童の発達に応じて個別に活動をおこなったりしています。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	活動前に、職員間で動きの確認を行なっている。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	終礼を行ない、振り返りをしその日の児童の様子を職員で共有しています。	送迎に時間を要し、できないときもあります。その際は

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	2	日々の記録や連絡帳はパソコンでおこない送迎時の保護者様からの伝達事項などは終礼で報告しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	半年に1度はもちろんですが子どもの状況に応じては、そのつど話し合いをおこなっています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	開催される場合は可能な限り児童発達支援管理責任者、管理者、指導員が参加します。他施設へ行き会議も行います。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2	必要性がある児童のケースに応じて管理者を中心に対応している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	2		
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	連携を行ない、支援方法等を確認している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーパイズや助言等を受ける機会を設けているか。			機会があれば参加していきたいです。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	0	13		今後機械があれば今以上に積極的に参加して行こうと思います。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	中々、交流ができないのが現状です。今後については、検討していかいます。	中々、交流ができないのが現状です。今後については、検討していかいます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	13	中々、機会がなく開催でないのが現状です。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	1	利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいております。	中々、機会がなく開催でないのが現状です。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	定期面談ではなしを聞いています。	
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	今年度から連絡帳にHUGを用いることでより情報発信しやすいようになっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	0	中々、機会がなく開催でないのが現状です。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1	いつも連絡が付くようにして頂いています。利用日以外も相談にのってくれています。	中々、機会がなく開催でないのが現状です。本部と相談し開催の方向で話を進めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	今年度から連絡帳にHUGを用いることでより情報発信しやすいようになっています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	個人情報は鍵付きの書庫にて保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	絵カード等を取り入れて視覚支援を行ない児童に情報が伝達しやすいように対応をおこなっています。様々な場面で視覚	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	2	中々、機会がなく開催でないのが現状です。	

	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	マニュアルについては、職員会議の際に対応方法等を確認していますが、保護者への周知についてはできていません改善をおこない周知できるように努めています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	1	研修と訓練を行い実際に行動している	マニュアルについては、職員会議の際に対応方法等を確認していますが、保護者への周知についてはできていません改善をおこない周知できるように努めています。
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	確認しその経緯なども確認を行なっています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	指示書をもらって対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	1ヶ月に1回記入し会議で共有しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	1ヶ月に1回記入し会議で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	定期的に会議を行なっています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	1	利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいております。	